

会 議 録

- 1 会議の名称 第2回熊取町公共交通協議会
- 2 開催日時 令和5年8月25日（金） 13時00分から14時30分まで
- 3 開催場所 熊取交流センター 煉瓦館 コットンホール
- 4 議題
議事第1号 「地域公共交通計画」の策定について
議事第2号 熊取町の公共交通を取り巻く現状
議事第3号 熊取町の公共交通におけるこれまでの取組紹介及び課題
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 0名
- 7 審議等の概要

議事第1号 「地域公共交通計画」の策定について

- ・地域公共交通計画の制度等について、大阪運輸支局より説明いただきました。

※別冊資料①参照

議事第2号 熊取町の公共交通を取り巻く現状

- ・地域公共交通の利用状況や経営状況等について、路線バス事業者及びタクシー事業者より説明いただきました。

※別冊資料②参照

議事第3号 熊取町の公共交通におけるこれまでの取組紹介及び課題

- ・地域公共交通に対する住民の声を把握するため、これまでに実施してきた取組成果を報告し、町の地域公共交通における課題について協議を行いました。

※別冊資料③参照

【委員からの質問・意見】

- 「地域公共交通計画」の策定について

- ・質問、意見なし

○熊取町の公共交通を取り巻く現状について

- ・住民に利用していただくために、企業として具体的にどのような取組みをしているのか。
→バスロケーションシステムを導入し、スマホや携帯電話で路線バスの運行情報がわかるようにするなど、利用環境の改善を行っている。
- ・町は現在、交通事業者に補助等を行っているのか。また、交通事業者に補助を行うのか、もしくはひまわりバスと路線バスを統合するのかなど、これまでに検討したことはあるか。
→路線バスの赤字路線に対して、補助は行っていない。また、路線バスは鉄道駅への接続、ひまわりバスは公共施設への接続というように、役割のすみ分けは出来ているので統合は考えていない。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によって、路線バスの利用者はどの程度減少したのか。
→酷い時期で3割程度減少した。通勤等の通常の移動に関しても、テレワークによる働き方が進んでおり、利用者が減っているように感じている。
- ・路線バスの通学利用者の落ち込みは大きかったか。
→コロナ禍では休校やオンライン授業が行われていたため、大きく減少していた。
- ・令和5年のGW以降、新型コロナウイルス感染症が5類感染症の扱いになったが、路線バスの利用状況に変化はあるのか。
→昨年度と比較すると若干回復しつつある。

○熊取町の公共交通におけるこれまでの取組紹介及び課題について

- ・予約制乗合タクシー実証実験で、運賃200円で実施されたとあるが、本来、タクシー利用で生じるはずだった費用のうち、町はどの程度補填していたのか。
→実証実験は町が実施しており、委託費用は590万円で、大人181人、子ども8人、障がい者16人の利用があり、総収入は37,000円であった。

8 審議会の情報	名称	熊取町公共交通協議会
	根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 熊取町公共交通協議会規約
	設置期間	令和5年2月3日～
	所掌事項	地域公共交通計画の策定及び変更に係る調査及び検討に関する事等
	委員数	19名
9 担当課	道路公園課	